

# 2025年3月期（2024年度） 主要建設会社決算分析

2025年6月2日



一般財団法人 **建設経済研究所**

〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33 フロンティア御成門8F

Tel: 03 3433 5011 Fax: 03 3433 5239

URL: <http://www.rice.or.jp/>

## ◆目次

1. 調査の目的
2. 分析対象会社
3. 報告要旨
4. 主要分析結果
  - ① 受注高
  - ② 売上高
  - ③ 売上総利益
  - ④ 販売費及び一般管理費
  - ⑤ 営業利益
  - ⑥ 経常利益
  - ⑦ 特別利益・特別損失
  - ⑧ 当期純利益
  - ⑨ 有利子負債
  - ⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ
  - ⑪ キャッシュフロー
5. 参考資料

## ◆1. 調査の目的

一般財団法人建設経済研究所では、1997年より主要建設会社の財務内容を階層別に経年比較分析することにより、建設業の置かれた経済状況とそれに対する各企業の財務戦略の方向性について、継続的に調査しています。

今回の発表は、各社の決算短信等から判明する2025年3月期（2024年度）通期決算の財務指標の分析結果を掲載するものです。なお、一部の分析対象会社については2024年12月期決算を採用しています。

資料をご提供いただいた関係各社の皆様には、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

（お問合せ先） 一般財団法人 建設経済研究所  
特別研究理事 藤 井 賢 一  
研究員 江 口 暉  
研究員 北 林 夏 子

電話：03-3433-5240 FAX：03-3433-5239

## ◆2. 分析対象会社

### (1) 対象会社

全国的に事業展開を行っている総合建設会社を対象とし、以下の3つの要件に該当する、過去3年間（2021年度、2022年度、2023年度）の連結売上高平均が上位の40社とした。

- ① 建築一式・土木一式の売上高が恒常的に5割を超えていること。
- ② 会社更生法、民事再生法等の倒産関連法規の適用を受けていないこと。
- ③ 決算関係の情報が開示されていること。

### (2) 階層分類

過去3年間の連結売上高平均を基に、40社を大手（5社）、準大手（11社）、中堅（24社）の3つの階層に分類した。

【過去3年間の平均連結売上高と階層分類】

単位：億円		
階層	企業名	連結売上高
大手 (5社)	鹿島建設	23,788
	大林組	20,773
	清水建設	18,074
	大成建設	16,503
	竹中工務店	14,161
準大手 (11社)	長谷工コーポレーション	10,105
	インフロニア・ホールディングス	7,526
	五洋建設	5,260
	戸田建設	5,237
	三井住友建設	4,471
	熊谷組	4,240
	安藤・間	3,689
	西松建設	3,550
	高松コンストラクショングループ	2,864
	東急建設	2,775
	奥村組	2,600

※竹中工務店、福田組：12月期決算

※インフロニア・ホールディングスは、国際会計基準を採用しており、「事業利益」を「営業利益」に、「営業利益」を「経常利益」に読み替えて集計している。

※2024年10月1日付けで飛鳥建設の完全親会社として飛鳥ホールディングスが設立されている。

単位：億円		
階層	企業名	連結売上高
中堅 (24社)	東亜建設工業	2,391
	東洋建設	1,692
	福田組	1,655
	鉄建建設	1,653
	大豊建設	1,586
	浅沼組	1,442
	東鉄工業	1,271
	飛鳥ホールディングス	1,252
	新日本建設	1,181
	ピーエス・コンストラクション	1,161
	銭高組	1,102
	矢作建設工業	1,080
	ナカノドー建設	1,061
	松井建設	894
	若築建設	894
	名工建設	845
	大本組	829
	北野建設	768
	大末建設	731
	不動テトラ	684
	徳倉建設	631
	植木組	508
	第一建設工業	480
	南海辰村建設	411

### ◆3. 報告要旨

- 受注高は、総計では前年度比 5%超えの増加となった。建築は「大手」の伸びは落ち着いたものの、全階層で前年度から増加した。土木は「大手」では減少したが、「準大手」と「中堅」では増加に転じたことで、土木総計では 5.6%の増加となった。
- 売上高は、全階層で増加し、総計では 20 兆円を超えた。前年度に引き続き、物価上昇が影響していると考えられる。2025 年度通期は、増加率は縮小するものの、全階層で引き続き増加すると見込まれる。
- 売上総利益は、全階層で増加した。売上総利益率は、「大手」と「中堅」が増加、「準大手」が減少となり、総計では前年度比 11.0%と増加した。
- 営業利益は、全階層で増加し、特に「大手」では 105%の増加と、前年度の大幅な減益をカバーした。総計でも増加に転じ、営業利益率も全階層で増加していることから、工事の採算性に改善がみられる。2025 年度通期においても、引き続き回復傾向が見込まれる。

※分析は、連結数値（不明な企業については単体数値）を採用している。ただし、受注高については、単体数値（不明な企業については連結数値）を採用している。

※三井住友建設の 2025 年度通期予想は非公開のため、計上していない。

## ◆4. 主要分析結果

### ① 受注高（単体）

#### 【 受注高合計 】

受注高／前年度比増加率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
20年度	6,284,091	(増加率)	3,774,567	(増加率)	2,306,946	(増加率)	12,365,604	(増加率)
21年度	6,564,904	4.5%	3,849,807	2.0%	2,290,334	▲ 0.7%	12,705,045	2.7%
22年度	7,109,731	8.3%	4,197,423	9.0%	2,614,764	14.2%	13,921,918	9.6%
23年度	8,253,870	16.1%	4,364,823	4.0%	2,730,536	4.4%	15,349,229	10.3%
24年度	8,205,950	▲ 0.6%	5,035,514	15.4%	2,960,325	8.4%	16,201,789	5.6%

今年度予想(大手) 単位:百万円

	受注予想額	増加率
25年度予想	7,617,000	▲ 7.2%

■受注高は「大手」のみ減少し、「準大手」と「中堅」で増加した。総計では16.2兆円となり、東京オリンピック・パラリンピックによる特需を超えた前年度に引き続き、増加となった。

■前年度比で増加したのは、「大手」では5社中2社、「準大手」では11社中10社、「中堅」では24社中21社であった。

■「大手」では、2025年度通期の受注額は前年度比7.2%の減少を見込む。

#### 【 建築 】

受注高／前年度比増加率 単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
20年度	4,711,213	(増加率)	2,452,130	(増加率)	1,112,850	(増加率)	8,276,193	(増加率)
21年度	5,094,888	8.1%	2,515,707	2.6%	1,237,536	11.2%	8,848,131	6.9%
22年度	5,433,649	6.6%	2,715,988	8.0%	1,369,137	10.6%	9,518,774	7.6%
23年度	6,141,137	13.0%	2,940,413	8.3%	1,503,626	9.8%	10,585,176	11.2%
24年度	6,252,968	1.8%	3,320,252	12.9%	1,655,357	10.1%	11,228,577	6.1%

今年度予想(大手) 単位:百万円

	受注予想額	増加率
25年度予想	5,982,000	▲ 4.3%

■建築部門の受注高は全階層で増加した。総計では前年度比6.1%増となり、前年度同様に10兆円を突破した。

■前年度比で増加したのは、「大手」では5社中4社、「準大手」では全11社、「中堅」では全23社であった。

## 【 土 木 】

受注高／前年度比増加率

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
20年度	1,355,565		1,258,008		1,140,363		3,753,936	
21年度	1,207,606	▲ 10.9%	1,251,694	▲ 0.5%	978,364	▲ 14.2%	3,437,664	▲ 8.4%
22年度	1,418,920	17.5%	1,390,604	11.1%	1,174,209	20.0%	3,983,733	15.9%
23年度	1,748,704	23.2%	1,313,881	▲ 5.5%	1,155,022	▲ 1.6%	4,217,607	5.9%
24年度	1,662,051	▲ 5.0%	1,564,108	19.0%	1,228,831	6.4%	4,454,990	5.6%

今年度予想(大手)

単位:百万円

	受注予想額	増加率
25年度予想	1,313,000	▲ 21.0%

■土木部門の受注高は、「大手」のみ減少し、「準大手」と「中堅」は増加した。総計では前年度比 5.6%増となり、2014 年度以来の 4 兆円超えを維持した。

■前年度比で増加したのは、「大手」では 5 社中 1 社、「準大手」では 10 社中 8 社、「中堅」では 22 社中 13 社であった。

## ② 売上高 (連結)

売上高／前年度比増加率

単位:百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
		(増加率)		(増加率)		(増加率)		(増加率)
20年度	7,848,441		4,761,056		2,575,357		15,184,854	
21年度	8,289,210	5.6%	4,809,346	1.0%	2,453,281	▲ 4.7%	15,551,837	2.4%
22年度	9,327,403	12.5%	5,181,110	7.7%	2,580,499	5.2%	17,089,012	9.9%
23年度	10,373,301	11.2%	5,632,776	8.7%	2,826,392	9.5%	18,832,469	10.2%
24年度	11,230,629	8.3%	6,030,633	7.1%	2,924,256	3.5%	20,185,518	7.2%

25年度予想	10,902,000	5.1%	5,903,800	4.8%	3,071,900	8.7%	19,877,700	5.6%
--------	------------	------	-----------	------	-----------	------	------------	------

■売上高は、全階層で増加し、総計では前年度比 7.2%増加した。総計の売上高は 20 兆円を超え、過去 20 年間で最高となっている。

■前年度比で増加したのは、「大手」では 5 社中 3 社、「準大手」では 11 社中 9 社、「中堅」では 24 社中 16 社であった。

■2025 年度通期の売上高は、「大手」では 5.1%増、「準大手」では 4.8%増、「中堅」では 8.7%増と、引き続き増加基調が続くと見込んでいる。

### ③ 売上総利益（連結）

売上総利益／前年度比増加率／売上高総利益率

単位：百万円

	大手		準大手			中堅			総計		
	売上総利益	売上高総利益率	売上総利益	売上高総利益率	売上高総利益率	売上総利益	売上高総利益率	売上総利益	売上高総利益率		
20年度	995,516	(増加率) 12.7%	610,812	(増加率) 12.8%	295,686	(増加率) 11.5%	1,902,014	(増加率) 12.5%			
21年度	864,255	▲ 13.2%	572,205	▲ 6.3%	279,304	▲ 5.5%	1,715,764	▲ 9.8%			
22年度	902,492	4.4%	557,106	▲ 2.6%	278,193	▲ 0.4%	1,737,791	1.3%			
23年度	858,414	▲ 4.9%	651,010	16.9%	305,930	10.0%	1,815,354	4.5%			
24年度	1,193,216	39.0%	688,050	5.7%	348,252	13.8%	2,229,518	22.8%			

■売上総利益は総計で前年度比 22.8%増と大幅な増加となったものの、売上高総利益率は総計で 11.0%と、過去 5 年と同様の水準となった。

■売上総利益が前年度比で増加したのは、「大手」では全 5 社、「準大手」では 11 社中 8 社、「中堅」では 24 社中 19 社であった。

■売上高総利益率が前年度比で増加したのは、「大手」では全 5 社、「準大手」11 社中 4 社、「中堅」では 24 社中 17 社であった。

#### ④ 販売費及び一般管理費（連結）

販管費／前年度比増加率／販管費率

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率	販管費	販管費率
20年度	474,598	(増加率) 6.0%	312,811	(増加率) 6.6%	152,498	(増加率) 5.9%	939,907	(増加率) 6.2%
21年度	512,228	7.9%	328,470	5.0%	152,052	▲ 0.3%	992,750	5.6%
22年度	547,442	6.9%	353,554	7.6%	153,786	1.1%	1,054,782	6.2%
23年度	595,333	8.7%	374,651	6.0%	175,664	14.2%	1,145,648	8.6%
24年度	653,578	9.8%	398,207	6.3%	182,918	4.1%	1,234,703	7.8%

■販管費は全階層で増加した。総計では前年度比 7.8%増となり、前年度に引き続き 1 兆円を超えた。

■販管費率は、総計で 6.1%と、前年度と同様に 6%台を維持している。

#### ⑤ 営業利益（連結）

営業利益／前年度比増加率／売上高営業利益率

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	営業利益	売上高営業利益率	営業利益	売上高営業利益率	営業利益	売上高営業利益率	営業利益	売上高営業利益率
20年度	520,914	(増加率) 6.6%	297,996	(増加率) 6.3%	143,624	(増加率) 5.6%	962,534	(増加率) 6.3%
21年度	352,025	▲ 32.4%	243,731	▲ 18.2%	125,508	▲ 12.6%	721,264	▲ 25.1%
22年度	355,048	0.9%	203,099	▲ 16.7%	113,365	▲ 9.7%	671,512	▲ 6.9%
23年度	263,081	▲ 25.9%	276,359	36.1%	130,266	14.9%	669,706	▲ 0.3%
24年度	539,638	105.1%	289,843	4.9%	165,334	26.9%	994,815	48.5%
25年度予想	463,700	76.3%	675,200	144.3%	159,280	22.3%	1,298,180	93.8%

■営業利益は、全階層で増加した。総計では、48.5%増となり、2020 年度並みの利益額へ回復した。売上高営業利益率も総計で 4.9%と回復した。

■全 40 社が営業黒字を確保した。営業利益が前年度比で増加したのは、「大手」では全 5 社、「準大手」では 11 社中 5 社、「中堅」では 24 社中 20 社であった。

■2025 年度通期の営業利益は、39 社中 22 社が増益を見込んでいる。

## ⑥ 経常利益（連結）

経常利益／前年度比増加率／売上高経常利益率

単位：百万円

	大手		準大手			中堅		総計				
	経常利益	売上高 経常利益率	経常利益	売上高 経常利益率	売上高 経常利益率	経常利益	売上高 経常利益率	経常利益	売上高 経常利益率			
20年度	556,869	(増加率)	7.1%	299,102	(増加率)	6.3%	147,982	(増加率)	5.7%	1,003,953	(増加率)	6.6%
21年度	413,416	▲ 25.8%	5.0%	248,771	▲ 16.8%	5.2%	130,414	▲ 11.9%	5.3%	792,601	▲ 21.1%	5.1%
22年度	416,597	0.8%	4.5%	206,724	▲ 16.9%	4.0%	116,883	▲ 10.4%	4.5%	740,204	▲ 6.6%	4.3%
23年度	320,006	▲ 23.2%	3.1%	280,485	35.7%	5.0%	136,659	16.9%	4.8%	737,150	▲ 0.4%	3.9%
24年度	591,133	84.7%	5.3%	280,154	▲ 0.1%	4.6%	167,547	22.6%	5.7%	1,038,834	40.9%	5.1%
25年度予想	481,500	50.5%	4.4%	313,300	11.7%	5.3%	161,860	18.4%	5.3%	956,660	29.8%	4.8%

■経常利益は、「準大手」で減少したが、「大手」と「中堅」では増加し、総計では40.9%増と、2020年度並みの10兆円まで回復した。売上高経常利益率も総計で5.1%と、改善がみられた。

■2025年度通期の経常利益は、39社中24社が増益を見込んでいる。

## ⑦ 特別利益・特別損失（連結）

特別利益／特別損失

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度	2023年度	2024年度
特別利益	133,574	190,778	25,073	42,309	13,771	11,290	172,418	244,377
特別損失	33,085	26,357	19,691	55,210	9,877	5,910	62,653	87,477
特別損益	100,489	164,421	5,382	▲ 12,901	3,894	5,380	109,765	156,900

■特別利益は総計で前年度比719億円増加し、特別損失は同248億円増加した。特別損益は総計で471億円増加し、1,569億円の黒字となっている。

## ⑧ 当期純利益（連結）

当期純利益／前年度比増加率／売上高当期純利益率

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	当期純利益	売上高当期純利益率	当期純利益	売上高当期純利益率	当期純利益	売上高当期純利益率	当期純利益	売上高当期純利益率
20年度	397,560 (増加率)	5.1%	193,683 (増加率)	4.1%	96,463 (増加率)	3.7%	687,706 (増加率)	4.5%
21年度	301,542 ▲ 24.2%	3.6%	163,904 ▲ 15.4%	3.4%	88,660 ▲ 8.1%	3.6%	554,106 ▲ 19.4%	3.6%
22年度	315,908 4.8%	3.4%	138,025 ▲ 15.8%	2.7%	83,298 ▲ 6.0%	3.2%	537,231 ▲ 3.0%	3.1%
23年度	285,001 ▲ 9.8%	2.7%	190,112 37.7%	3.4%	94,071 12.9%	3.3%	569,184 5.9%	3.0%
24年度	517,872 81.7%	4.6%	174,531 ▲ 8.2%	2.9%	120,019 27.6%	4.1%	812,422 42.7%	4.0%
25年度予想	405,000 42.1%	3.7%	236,000 24.1%	4.0%	112,540 19.6%	3.7%	753,540 32.4%	3.8%

■当期純利益は、総計で前年度比 42.7%増となった。売上高当期純利益率は前年度比 4.0%と、2014 年度以来の低水準であった 3%台を脱した。

■全 40 社が黒字を確保した。当期純利益が前年度比で増加したのは、「大手」では全 5 社、「準大手」では 11 社中 4 社、「中堅」では 24 社中 20 社であった。

■2025 年度通期の当期純利益は、総計で 32.4%の増益を見込んでいる。

## ⑨ 有利子負債（連結）

有利子負債／前年度比増加率

単位：百万円

	大手		準大手		中堅		総計	
	有利子負債	増加率	有利子負債	増加率	有利子負債	増加率	有利子負債	増加率
20年度	1,322,366 (増加率)		954,885 (増加率)		237,353 (増加率)		2,514,604 (増加率)	
21年度	1,466,565 10.9%		1,129,261 18.3%		186,965 ▲ 21.2%		2,782,791 10.7%	
22年度	1,763,114 20.2%		1,222,978 8.3%		234,866 25.6%		3,220,958 15.7%	
23年度	2,022,825 14.7%		1,695,678 38.7%		280,092 19.3%		3,998,595 24.1%	
24年度	2,086,918 3.2%		1,702,058 0.4%		444,047 58.5%		4,233,023 5.9%	

■有利子負債は、全階層で増加し、総計では前年度比 5.9%増となり、上昇の幅は落ち着きを見せたものの、増加傾向で推移している。

■前年度比で増加したのは、「大手」では 5 社中 2 社、「準大手」では 11 社中 7 社、「中堅」では 21 社中 12 社であった。

## ⑩ 自己資本比率・デットエクイティレシオ（連結）

自己資本比率／前年度比（増加ポイント）

	大手		準大手		中堅		総計	
	比率	変化	比率	変化	比率	変化	比率	変化
20年度	43.6%	増加(P)	39.5%	増加(P)	48.2%	増加(P)	43.0%	増加(P)
21年度	42.3%	▲ 1.3	38.9%	▲ 0.5	51.8%	3.5	42.5%	▲ 0.4
22年度	39.7%	▲ 2.6	37.3%	▲ 1.6	50.5%	▲ 1.2	40.4%	▲ 2.1
23年度	38.8%	▲ 0.9	35.2%	▲ 2.1	50.1%	▲ 0.4	39.1%	▲ 1.3
24年度	33.3%	▲ 5.5	36.0%	0.8	50.0%	▲ 0.1	36.4%	▲ 2.8

デットエクイティレシオ／前年度比（増加ポイント）

	大手		準大手		中堅		総計	
	レシオ	変化	レシオ	変化	レシオ	変化	レシオ	変化
20年度	0.31	増加(P)	0.45	増加(P)	0.20	増加(P)	0.33	増加(P)
21年度	0.33	0.02	0.52	0.07	0.15	▲ 0.05	0.35	0.02
22年度	0.38	0.05	0.56	0.04	0.18	0.03	0.40	0.04
23年度	0.39	0.01	0.70	0.14	0.20	0.02	0.44	0.05
24年度	0.50	0.11	0.66	▲ 0.04	0.30	0.10	0.52	0.07

■自己資本比率は、「準大手」を除く全階層で低下し、総計では前年度に引き続き 40%を下回った。

■デットエクイティレシオは、「準大手」を除く全階層で上昇し、上昇基調が続いている。

※自己資本比率は、「自己資本÷総資産」で算出。デットエクイティレシオは、「有利子負債÷自己資本」で算出。

## ⑪ キャッシュフロー（連結）

営業CF

単位：百万円

	大手	準大手	中堅	総計
20年度	318,205	166,091	77,489	561,785
21年度	354,713	125,116	88,694	568,523
22年度	309,778	71,970	44,438	426,186
23年度	303,744	202,934	37,961	544,639
24年度	278,336	89,216	▲ 29,166	338,386

投資CF

単位：百万円

	大手	準大手	中堅	総計
20年度	▲ 310,197	▲ 119,058	▲ 45,027	▲ 474,282
21年度	▲ 242,641	▲ 139,635	▲ 32,504	▲ 414,780
22年度	▲ 298,355	▲ 144,883	▲ 36,573	▲ 479,811
23年度	▲ 326,094	▲ 421,594	▲ 38,279	▲ 785,967
24年度	▲ 119,963	▲ 193,171	▲ 66,005	▲ 379,139

財務CF

単位：百万円

	大手	準大手	中堅	総計
20年度	▲ 104,591	8,055	▲ 1,721	▲ 98,257
21年度	▲ 53,416	▲ 12,708	▲ 79,410	▲ 145,534
22年度	96,777	▲ 20,048	16,326	93,055
23年度	16,207	312,610	▲ 7,605	321,212
24年度	▲ 208,925	▲ 1,529	16,228	▲ 194,226

■営業 CF は、「中堅」で減少した。「大手」と「準大手」においても増加率が低下したことで、総計では前年度比 2,062 億円減少した。

■投資 CF は、「大手」と「準大手」でマイナス幅が縮小したものの、引き続き設備投資意欲は堅調である。

■財務 CF は、「大手」と「準大手」が減少、「中堅」が増加に転じた。

## ◆5. 参考資料

### ●受注高(合計)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	2	1	0	2	5
準大手	1	0	2	8	11
中堅	0	3	12	9	24
総計	3	4	14	19	40

### ●受注高(建築)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	1	0	1	3	5
準大手	0	0	0	11	11
中堅	0	0	1	22	23
総計	1	0	2	36	39

※建築の受注がない不動産を除いて集計

### ●受注高(土木)増加率 (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	3	1	0	1	5
準大手	1	1	3	5	10
中堅	5	4	3	10	22
総計	9	6	6	16	37

※土木の受注がない長谷エコーポレーション、新日本建設、大末建設を除いて集計

### ●売上高増加率(連結) (単位:社)

	減少		増加		合計
	10%以上	0%以上10%未満	0%以上10%未満	10%以上	
大手	0	2	1	2	5
準大手	0	2	5	4	11
中堅	2	6	10	6	24
総計	2	10	16	12	40

### ●売上総利益/売上高総利益率(連結) (単位:社)

	利益減少		利益増加		合計
	利益率低下	利益率上昇	利益率低下	利益率上昇	
大手	0	0	0	5	5
準大手	3	0	4	4	11
中堅	3	2	2	17	24
総計	6	2	6	26	40

●営業利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	0	5	5
準大手	6	5	11
中堅	4	20	24
総計	10	30	40

●経常利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	1	4	5
準大手	6	5	11
中堅	5	19	24
総計	12	28	40

●当期純利益(連結) (単位:社)

	減少	増加	合計
大手	0	5	5
準大手	7	4	11
中堅	4	20	24
総計	11	29	40

●有利子負債(連結)／前年度比 (単位:社)

	減少	増減なし	増加	合計
大手	3	0	2	5
準大手	4	0	7	11
中堅	8	1	12	21
総計	15	1	21	37

※有利子負債の計上が無い新日本建設、北野建設、第一建設工業を除いて集計